



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月7日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3151 URL https://www.vitalksk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 泰介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-266-8330
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	448,909	—	5,658	—	6,506	—	5,054	—
2023年3月期第3四半期	444,384	—	3,061	—	4,302	—	2,433	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,526百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 4,740百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	99.12	—
2023年3月期第3四半期	46.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	328,344	102,703	30.9
2023年3月期	297,316	100,165	33.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 101,447百万円 2023年3月期 98,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	27.00	39.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	39.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	584,000	—	5,200	—	6,300	—	5,500	—	108.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※増減率につきましては、表示方法の変更に伴い記載しておりません。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	51,902,976株	2023年3月期	61,224,796株
2024年3月期3Q	1,706,337株	2023年3月期	9,438,699株
2024年3月期3Q	50,997,734株	2023年3月期3Q	52,229,190株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社では従来、メーカーへの販売情報提供に係る収入を「営業外収益」の「受取事務手数料」として計上していましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めることとした表示方法の変更を行っております。この変更により、前第3四半期連結累計期間の業績について、表示方法の変更を反映した遡及処理を行った数値を記載しております。

これらの詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」をご参照ください。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ前を上回るインバウンド需要や内需のゆるやかな回復等、社会経済活動の動きが活発になった一方で、国際情勢不安、円安傾向、物価の上昇、供給面での制約及び金融資本市場の変動等、依然として不確実性が高く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業である医薬品卸売業界におきましては、2023年4月の薬価改定による医療費削減効果は3,100億円規模となり、今後も社会保障制度や薬価制度など人々の生命、健康にかかわる政策・制度の抜本改革へ向けた議論が活発化し薬剤費の抑制政策は継続されることが予想されます。医薬品市場の開発、製造、流通の現場では日々ダイナミックな変化が起こる中にあり、医薬品流通にかかわる諸課題の解決の道筋も複雑化しており事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような市場構造と経営環境の変化を踏まえて、当社グループでは、2024年3月期より「長期ビジョン2035」を「垣根を越えて 薬の先へ “つなぐ” ことで医療の未来を革新する」として策定しました。この長期ビジョンのもと、自立と連携により医薬品・メディカル関連商品の持続可能な流通体制を構築するとともに、社会課題の解決、健康寿命の延伸に寄与することを目的に医療周辺ビジネスを拡大してまいります。また、当社グループは「次代を見据えたビジネスモデルの革新」を中期ビジョンとし、2023年3月期から2025年3月期までの3年間にわたる第5次中期経営計画に取り組んでおります。本中期経営計画では、実践課題として「1. 市場の構造変化と市場特性に合わせた医薬品流通モデルの追求」「2. 医療のDX進展に伴う流通・マーケティングモデルの進化」「3. プライム市場に対応したグループ経営推進」を設定しその実現に向けて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、医療用医薬品市場全体の伸長に加え、抗がん剤や新型コロナウイルス感染症治療薬の販売が好調に推移したことなどから、わずかに増収となりました。利益面では、前述の増収効果に加えて、前期計上した大口得意先に対する貸倒引当金の反動などにより前年を上回ることとなりました。以上の結果、売上高448,909百万円(前年同期実績は444,384百万円)、営業利益5,658百万円(前年同期実績は3,061百万円)、経常利益は6,506百万円(前年同期実績は4,302百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,054百万円(前年同期実績は2,433百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業の当第3四半期連結累計期間におきましては、薬価改定や一部メーカーの取扱い停止の影響、新型コロナウイルス関連の検査試薬や機器等の販売が落ち込む等によるマイナスの影響はあったものの、抗がん剤や新型コロナウイルス治療薬やインフルエンザ治療薬等の販売が想定以上に伸長し、これらが減収分を上回り、わずかに増収となりました。また利益面においても、この増収効果に加えて、得意先1軒ごとに取り引コストを意識した価格交渉を進めたことで、前年実績を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は423,218百万円(前年同期実績は419,449百万円)、セグメント利益(営業利益)は、5,211百万円(前年同期実績は2,810百万円)となりました。

② 薬局事業

薬局事業におきましては、2023年8月に事業譲受により1店舗増加したことに加え、調剤技術料収入および薬学管理料収入の増大に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更されたことに伴う人流増加等により受付処方箋枚数が増加したことなどから、売上高は、14,295百万円（前年同期実績は13,769百万円）、セグメント利益（営業利益）は、その増収効果に加え、のれんの償却費が大幅に減少したことにより増益の259百万円（前年同期実績は77百万円）となりました。

③ 動物用医薬品卸売事業

動物用医薬品卸売事業におきましては、コンパニオンアニマル部門の売上が伸長し、売上高は8,472百万円（前年同期実績は8,164百万円）、セグメント利益（営業利益）は、仕入価格の上昇等の影響がある中、288百万円（前年同期実績は283百万円）となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、農薬・農業資材等卸売事業における売上減などにより、売上高は、2,922百万円（前年同期実績は3,000百万円）となる一方、介護関連事業における収益改善が寄与したこと等によりセグメント損失（営業損失）は、162百万円（前年同期実績は236百万円のセグメント損失）となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえて、2023年5月12日に公表しました2024年3月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2024年2月7日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,029	31,100
受取手形及び売掛金	118,585	131,235
棚卸資産	30,846	33,863
未収入金	16,466	16,523
その他	3,616	2,903
貸倒引当金	△41	△50
流動資産合計	188,502	215,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,370	19,601
土地	24,917	25,083
その他（純額）	3,736	4,062
有形固定資産合計	49,024	48,747
無形固定資産		
のれん	818	716
その他	2,558	3,339
無形固定資産合計	3,377	4,055
投資その他の資産		
投資有価証券	44,642	47,563
その他	12,771	13,159
貸倒引当金	△1,002	△756
投資その他の資産合計	56,411	59,966
固定資産合計	108,813	112,769
資産合計	297,316	328,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,571	195,107
短期借入金	990	980
1年内返済予定の長期借入金	970	970
未払法人税等	2,095	1,070
賞与引当金	1,569	613
その他	8,462	8,518
流動負債合計	178,659	207,259
固定負債		
長期借入金	6,790	6,065
その他の引当金	251	245
退職給付に係る負債	855	900
その他	10,594	11,170
固定負債合計	18,491	18,381
負債合計	197,150	225,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,810	5,272
利益剰余金	67,864	70,550
自己株式	△7,575	△1,653
株主資本合計	78,099	79,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,972	21,638
退職給付に係る調整累計額	913	639
その他の包括利益累計額合計	20,886	22,277
非支配株主持分	1,179	1,255
純資産合計	100,165	102,703
負債純資産合計	297,316	328,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	444,384	448,909
売上原価	409,345	412,537
売上総利益	35,038	36,372
販売費及び一般管理費	31,977	30,714
営業利益	3,061	5,658
営業外収益		
受取利息	51	50
受取配当金	555	492
持分法による投資利益	83	21
その他	695	439
営業外収益合計	1,385	1,004
営業外費用		
支払利息	74	74
賃貸費用	60	58
その他	9	23
営業外費用合計	144	156
経常利益	4,302	6,506
特別利益		
固定資産売却益	15	46
投資有価証券売却益	59	1,221
その他	—	26
特別利益合計	74	1,295
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	22	49
投資有価証券売却損	26	—
投資有価証券評価損	56	42
土壌処理費用	136	—
解体費用	—	47
その他	2	36
特別損失合計	244	176
税金等調整前四半期純利益	4,132	7,625
法人税等	1,622	2,490
四半期純利益	2,510	5,134
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,433	5,054

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,510	5,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,416	1,327
退職給付に係る調整額	△267	△273
持分法適用会社に対する持分相当額	81	337
その他の包括利益合計	2,230	1,391
四半期包括利益	4,740	6,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,663	6,445
非支配株主に係る四半期包括利益	77	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積もり実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(表示方法の変更)

当社グループは、従来より、メーカーへの販売情報提供に係る収入を「営業外収益」の「受取事務手数料」として計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めることとした表示方法の変更を行っております。

当社グループは、「次代を見据えたビジネスモデルの革新」という中期ビジョンに基づき、「医療のDX進展に伴う流通・マーケティングモデルの進化」の基本方針のもと、情報提供サービスの重要性が高まっていることから当該活動を主要な営業活動のひとつとして位置づけたことに伴い、当社グループの営業活動の成果を適切に表示するために行うものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取事務手数料」1,194百万円を「売上高」に組み替え、「売上高」が444,384百万円、「営業利益」が3,061百万円となっております。なお、「経常利益」及び「税金等調整前四半期純利益」に与える影響はありません。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「未収入金」199百万円を「受取手形及び売掛金」に組み替え、「受取手形及び売掛金」が118,585百万円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

表示方法の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「営業外収益」の「受取事務手数料」を「売上高」に変更しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、表示方法の変更を反映した遡及処理を行っており、従来の方々に比べて「医薬品卸売事業」の売上高が1,187百万円、「動物用医薬品卸売事業」の売上高が7百万円増加し、「医薬品卸売事業」のセグメント利益が1,187百万円、「動物用医薬品卸売事業」のセグメント利益が7百万円増加しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、その主たるセグメントである「医薬品卸売事業」、「薬局事業」及び「動物用医薬品卸売事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品卸売事業」は、病院、開業医、薬局等の医療機関に、医薬品・診断薬・医療機器・材料等の販売等をしております。「薬局事業」は、一般消費者に医薬品・医療機器・器具及び衛生材料等の販売をしております。

「動物用医薬品卸売事業」は、農場、牧場、動物病院、診療所等に、動物用医薬品・飼料等の販売等をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	医薬品 卸売事業	薬局事業	動物用医薬 品卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	419,449	13,769	8,164	441,384	3,000	444,384	—	444,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,976	6	0	7,983	1,896	9,880	△9,880	—
計	427,426	13,776	8,164	449,367	4,896	454,264	△9,880	444,384
セグメント利益又は損 失(△)	2,810	77	283	3,171	△236	2,935	126	3,061

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農薬等の卸売業、介護サービス業、運送業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額126百万円はセグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	医薬品 卸売事業	薬局事業	動物用医薬 品卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	423,218	14,295	8,472	445,987	2,922	448,909	—	448,909
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,031	9	0	8,041	1,955	9,997	△9,997	—
計	431,250	14,304	8,473	454,028	4,878	458,907	△9,997	448,909
セグメント利益又は損 失(△)	5,211	259	288	5,759	△162	5,597	61	5,658

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農薬等の卸売業、介護サービス業、運送業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額61百万円はセグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。